

「仕事介護の両立支援制度」紹介

6 回シリーズ⑥ 出来れば考えたくない親の最期のこと。 ハンドブックでちょっと考えてみませんか

ご存じですか？全国 1 年間で 10 万人の方が介護離職しています

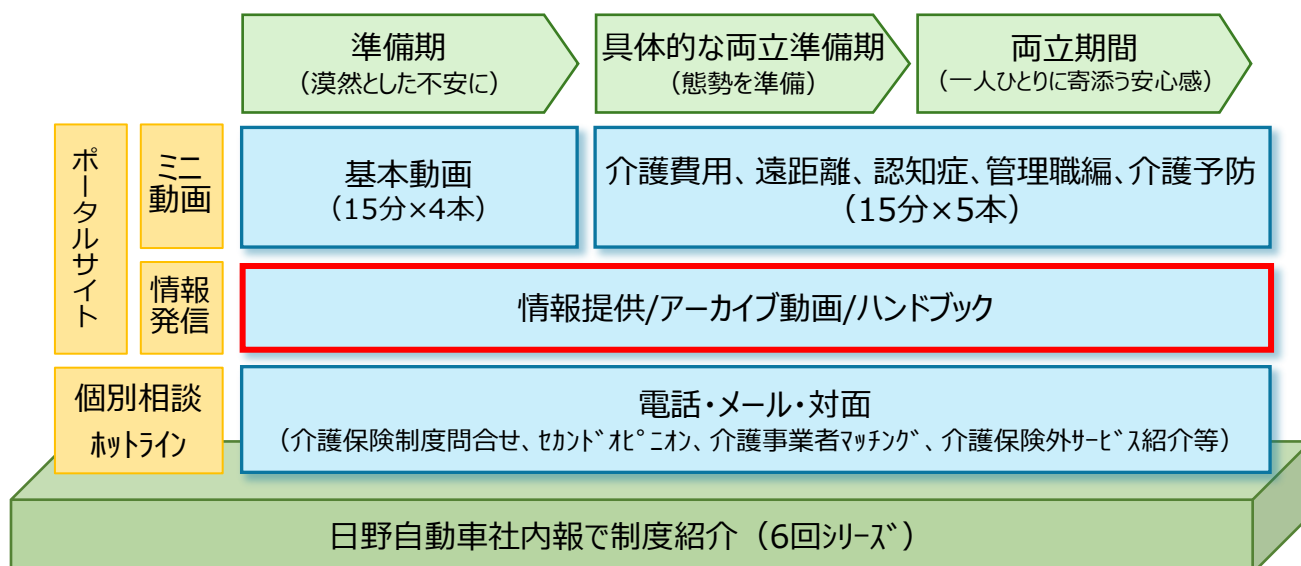
仕事介護の両立支援策を 6 回シリーズで紹介して参りましたが、今回が最終回。

テーマは「出来れば考えたくない親の最期のこと。ハンドブックでちょっと考えてみませんか」です。

親の最期は出来れば考えたくないもの。でも後悔はしたくない、そんな風に思っていないですか？

親の最期の向き合い方、今から知っておきたい心構えなど大事な情報がハンドブックにまとまっています。

「仕事と介護の両立支援」制度



今回のテーマ

出来れば考えたくない親の最期のこと。ハンドブックでちょっと考えてみませんか

日野自動車社内報「フロントランナー」(2026 年 1 月号)に掲載された記事をご紹介します。

[→ 詳細は次ページをご覧ください。](#)

【お問い合わせ先】日野自動車福祉共済基金 fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp

[日野自動車福祉共済基金ホームページ](#)

お役立ち k i k i n

#08

仕事と介護の
両立支援制度
第6回目(最終回)

「福祉共済基金って、ワタシと関係あるの？お祝い事やお悔やみ事もないし…」
実は“仕事と介護の両立支援”や“ご家族の終活支援”など
お役に立てることをいろいろやっています！会員の皆様にぜひ知っていただきたいことを、
6回シリーズで「仕事と介護の両立支援」制度についてご紹介します。

ご家族が最期の時間、どのように過ごしたいか知っていますか？

厚生労働省による自身が人生の最終段階で受けたいもしくは受けたくない医療・ケアについて、ご家族等や医療・介護従事者と詳しく話し合っていると思うかを問う調査では、「話し合ったことがある」と回答した人は、約3割にとどまり、約7割の方は「話し合ったことはない」という回答でした。



出典:厚生労働省「令和4年度人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査報告書」より

ご家族が最期の時間をどのように過ごしたいか、すべての希望を叶えてあげることが難しい場合もありますが、「聞いておけばよかった」とならないために今からできることを考えてみましょう。

親の最期はできれば考えたくないもの。でも大事なその時に後悔はしたくない。
話題にしづらいテーマだからこそ、ハンドブックの力を借りて。

仕事と介護の両立シリーズ④ ムック 親のハッピーエンディング

日野自動車福祉共済基金では、会員の皆様とご家族との最期の大切な時間に寄り添う際に役立つハンドブックを提供しています。ハッピーエンディングを迎えるための考え方のヒントや心構えについて書かれています。
ハンドブックを使って、ご家族で話し合ってみませんか。



事前に確認しておきたいことを掲載しています

- 介護が必要になった場合、誰に判断をゆだねるか
- 私について知ってほしいこと
- 病名・病状の告知について
- 人工呼吸器設置などの延命治療について
- 最期はどこでどんな風に過ごしたいのか
- お墓のこと



全ての情報はホームページにあります！

- ハンドブックはこちらから…福祉共済基金ホームページ ▶ 介護情報の提供と相談窓口

URL <https://www.hinofukushikyosai.jp/#kaigo>

二次元コード
<スマホ対応>



- お問い合わせ HIMAILアドレス「福祉共済基金本部事務局」
(fukushikyosai@hfk.hino.co.jp)

担当者不在の場合もありますので、メールでのお問合せにご協力をお願いいたします。

